正常運転点検ポイント

製品の効果を維持し、末永くご利用いただくための点検ポイントです。

AIR-DOCTOR

エアドクター®
CR-238

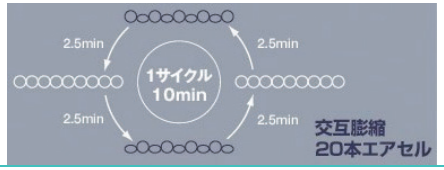
詳しくは、本品の取り扱い説明書をご参照ください。

メーカーの点検・交換推奨マークです。

点検ポイント　STEP 1

1 エアマットレスは膨らんでいますか？

20 本のエアセルが交互に膨縮を繰り返しています。全てのエアセルが膨らんでいない場合、または、時間が経っても膨らまないエアセルがある場合は、右記の点検 **2**～**7** を行って下さい。

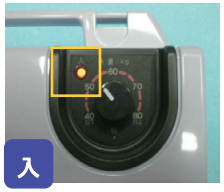


2 電源ランプは点灯していますか？

ポンプが動作をしている最中は、電源ランプが赤く点灯しています。点灯していない場合は、下記の①と②をお確かめ下さい。

① 電源スイッチは、「入」になっていますか？

② 電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？

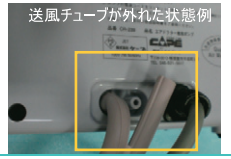


3 送風チューブがポンプから外れていませんか？

送風チューブが **2** 本ともポンプ裏の差込口に差し込まれているかお確かめ下さい。× の場合は、送風チューブを差込口にしっかり差し込んで下さい。

○ ポンプ裏

× 送風チューブが外れた状態例



4 ポンプ裏の送風チューブ差込口が破損していませんか？

ポンプ裏の差込口が破損していると、ポンプからの空気がエアマットレスに正常に送られない可能性があります。

1 本でも破損している場合は、メーカーでのお取替えを推奨します。なお、正常な状態を確認された後は、送風チューブを所定のポンプ差込口に差し込んで下さい。

○

×

5 送風チューブが折れ曲がっていませんか？

ベッドシーツ等と一緒に送風チューブがベッドマットレスの下に巻き込まれて折れ曲がっていないかお確かめ下さい。× の場合は、送風チューブのヨジレや折れ曲がりを直して下さい。

×

送風チューブがマット下に巻き込まれた状態例

6 20 本のエアセルが送風チューブと繋がっていますか？

エアマットレスの専用カバーを開き、各エアセルの下側に付いている **T** コネクターが送風チューブに差し込まれているかお確かめ下さい。× の場合は、**T** コネクターを送風チューブにしっかり差し込んで下さい。

○

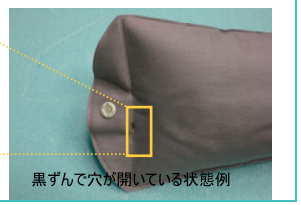
×

7 エアセルが破損していませんか？

エアマットレスの専用カバーを開き、20 本のエアセルを手で触ってお確かめ下さい。時間が経っても膨らまないエアセルがある場合は、破損の可能性があります。破損の場合は、メーカーでのお取替えを推奨します。

×

※1 本 1 本エアセルを交換できます。



8 専用カバーはお使いですか？

シーツをご使用の場合でも、専用カバー（防水、抗菌加工）はお使い下さい。専用カバーは、衛生面の視点からもご使用いただくことを推奨しております。

○

裏面もあります

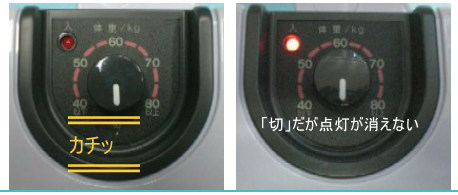
点検ポイント **STEP 2**

メーカーの点検・交換推奨マークです。

9 体重設定のツマミは、カチッと音がしますか？

体重設定のツマミが故障している場合は、ツマミの白線が「切」に着たときに、「カチッ」という音がしません。 その場合、ツマミが示す体重設定と実際の体重設定にズレが生じている可能性があります。正常な目安として、ツマミの白線が「切」に着たところで「カチッ」という音がして点灯が消えます。×の場合は、メーカーでの点検を推奨します

○ ×



10 ポンプケースは破損していませんか？ ポンプの中から異音はしませんか？

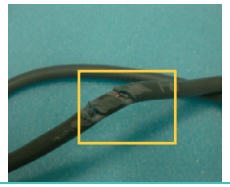
落下や強い衝撃を受けるなどしてポンプケースや取手が破損している場合は、ポンプケースだけでなく内部の部品も破損している可能性があります。また、購入時には無かった異音（「カタカタ」など）がポンプの中からする場合は、モーターの部品などが消耗している可能性があります。メーカーでの点検を推奨します。

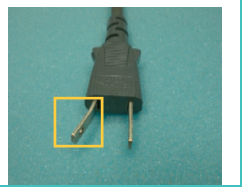
×

11 電源コード・プラグは破損していませんか？

電源コード・プラグが破損していますと、漏電・ショートなどの危険性があります。①の場合は、メーカーでの電源コードのお取替えを推奨します。②のように顕著に折れ曲がっている場合は、中の配線が断線している可能性があります。メーカーでの点検・お取替えを推奨します。なお、正常な場合は、電源プラグを所定のコンセントに差し込んで下さい。

① × ② ×

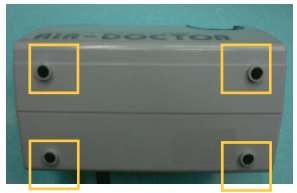




12 ポンプのゴム足はついていますか？

ポンプのゴム足は、ポンプからの振動を軽減させる役割があります。ポンプの底にゴム足が **4** 個あるかお確かめ下さい。ゴム足がなくなった場合は、メーカーでのお取り付けもできます。

○



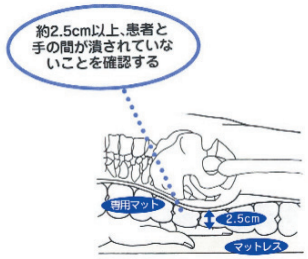
13 底づきをしていませんか？

詳しくは、本品の取扱説明書をご参照ください。

手順① エアマットとマットレス（または布団）など寝具の間で、褥瘡が最も起きそうな場所（仙骨部など）の真下に、手のひらを上に向けて、水平に差し入れます。

手順② 中指を曲げてみて、膨張しているエアセル部の押しつぶされ具合（底づき）を調べます。

手順③ 最も押しつぶされている場所で、**2.5cm** 程度（指の幅 **2** 本分程度）の余裕が指先で感じられる状態が適正とされています。



■底づきの場合■

実際の体重より 5kg 程度重く設定し、空気圧を上げてください。

製品情報 1 ご利用者さまの体重に合わせた設定をされていますか？

- エアドクターをご使用になる方の体重をツマミで調整・設定するだけで、ポンプの圧力センサーが働き、その方に合わせた最適な内圧管理を自動的に行います。最適な除圧環境を作るためにも、ご利用者の体重に合わせた体重設定を行ってください。

製品情報 2 エアセルの素材が変わりました。

旧エアドクター 101,850 円（本体価格 97,000 円）

リニューアル版エアドクター 101,850 円（本体価格 97,000 円）

- 機能はそのまま、エアセルが頑丈な素材になりました。
  ※ポリウレタンフィルム素材採用。

メンテナンス情報 ●お見積もりは無料です。※修理部品は有料です。 ●お見積もりご回答後 3 営業日以内に修理されたお品物をご送します。 ●送料は、発送元払いでお願い致します。

株式会社ケープ メンテナンスグループ 〒238-0013 神奈川県横須賀市平成町 2-7 TEL 046-821-5517 受付時間：平日 9:00～17:00 ホームページ www.cape.co.jp